



3年ぶりに ルスツにて開催



北海道スキー指導者協会

トピックス

令和4年8月

北海道スキー連盟 教育本部会議・夏季研修会

7月30日と31日の2日間、留寿都村にて教育本部会議と夏季研修会が3年ぶりの開催となりました。

【30日】

23年度の道連教育本部の活動に関する事、SAJ・SAH報告と各部からの報告が行われ、時代にそった組織活動を目指す流れが出来上がっているという事。

【31日】

各地域ブロック事の会議を実施、地区ごとに闊達な意見の交わし合う。

特別講演には北見工科大学の鈴木学長が「最大効率ターーンを目指す」と題した講演。

今期より教育本部メモ（青本）が廃止となり、シクミネットへは個人対応へ移行し、研修会を2年に一度の参加とする事など、大きな変化が行われます。感染症の拡大が収まらない状況ではありますが、シーズン本番までに落ち着きを取り戻すことを祈るばかりです、シーハイル。



SAH報告
阿部哲朗 道連教育副本部長

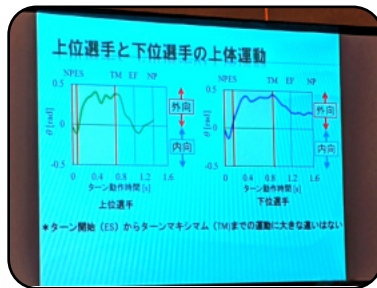


SAJ報告 土田茂
SAJ教育本部 副本部長



総括報告 佐藤秀志
道連教育本部本部長

鈴木聡一郎北見工大学長 講演より



科学的でわかりやすい解釈の講演